

地域にふさわしい 金融機関へ。

この地域のベストパートナーとして、みなさまの暮らしに役立つ金融機関をめざします。
「高い経営理念」と「堅牢な体制」を併せ持つ「地域顧客から最も信頼される輝かしい金庫」の
実現に向けて邁進してまいります。

経営 理念

大阪商工信用金庫は、きめ細かい金融サービスの提供により、お客さまの信頼に応えるとともに、
公正で健全な業務運営を通じて地域社会の発展に貢献いたします。

- 第一に、信用と社会的責任を重んじ、健全な経営を行う。
- 第二に、お客さま本位の経営を行う。
- 第三に、積極性、先進性、合理性を重視し、進取の経営を行う。
- 第四に、人間尊重の精神に則り自由闊達な庫風を創る。
- 第五に、高い見識と専門性を備えた清廉な人材を育成する。

金庫 概要

(平成30年
3月末現在)

商号	大阪商工信用金庫	出資金	33億90百万円
本店所在地	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号 TEL：(06) 6267-1636 (本部) FAX：(06) 6267-2879	自己資本額	337億76百万円
店舗数	大阪市内：12ヶ店／大阪府下：7ヶ店	預金高	5,671億円
創業	昭和4年5月	貸出金	3,883億円
改組	昭和26年10月	役員員数	404名<男 244名：女 160名>
代表者	理事長 多賀 隆一 (タガ リュウイチ)	業務内容	預金業務、融資業務、為替業務、 代理貸付業務などの信用金庫法に 基づく代理業務。



ロゴマークは、お客さまのお金を大切に預かる「商工」を母親が子供を抱いているような「優しさ」と「信頼関係」をイメージ化した自由な曲線で表現し、身近な信用金庫として、お客さまの良きパートナーでありたいとの願いを込めております。

● 情熱・活力を表す
「レッド」

● 信頼・誠実を表す
「ブルー」

● 親しみやすさを表す
「イエロー」

のコーポレートカラーを使用しています。

ごあいさつ

平成29年度の業務報告にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

我が国経済は、好調な米国経済や安定成長を続ける中国経済など外需を主因とした輸出や生産の持ち直し等もあって、緩やかながらも回復基調が続いております。もともと内需の中心たる個人消費と設備投資の回復力は弱く、消費者物価の伸びには勢いがありません。個人消費は、少子高齢化の影響から有効求人倍率はバブル期を越え、労働需給は逼迫しているものの賃金上昇に結び付いておらず、回復に力強さを欠いております。加えて世界を見渡すと米国第一主義を唱えるトランプ大統領や欧州の政治・経済リスクの再燃、中東・北朝鮮等の地政学リスクの高まり等不安要素も多く抱えながら、本格的な回復とは言い難い状況にあります。

大阪・関西におきましては、大企業を中心に電子部品や各種製造装置、建設機械等の輸出・生産が安定的に緩やかに拡大しており、また引き続きインバウンドによる経済波及効果も大きく、平成29年の来阪外国人旅行者は推計1,111万人(前年比+18.2%)と訪日外国人旅行者全体の約4割を占める結果になっており、ホテル・店舗の需要は旺盛であります。しかしながら、中小企業においては、大企業にくらべ回復力が弱く、情報通信技術が進展するなかで新しい技術への対応に格差が生じていること、少子高齢化による人材確保難から、人件費の高騰や深刻な人材不足、後継者不在による事業承継問題等が顕在化しつつあります。

このような状況下、当金庫も平成29年度より金融支援のみならずお客様の本業を側面支援する「大阪商工ファインダーサービス制度」を策定いたしました。助成金・補助金、中小企業向けM&A、事業承継等10項目のサービスを設けており様々な角度からお客様の悩みを解決する体制が整いました。今後大阪は大きなプロジェクト等で更なる活性化が期待されます。大阪府、大阪市との連携強化やPFI事業等への参画、地元大阪の環境整備に係る支援も視野に入れ、政府が掲げる持続的な成長の実現を目指す取組みに、地元大阪の金融機関として貢献できるよう努めてまいります。引き続き職員一人ひとりの目利き力、コンサルティング能力の研鑽に努めて「課題解決型金融機関」として地域No.1の信用金庫を目指し、当金庫ならではのサービス、人の繋がり、専門機関との連携を活かし、地域のお客様の価値向上へ向けて共生共助、共存共栄に邁進してまいります。

以上のような方針の下、全役職員が一致協力し業務に精励してまいりました結果、次の通りの今年度業績を収めることができました。

業容面におきましては、預金は期末残高567,103百万円と前期末比55,974百万円(10.9%)増加。貸出金は期末残高388,300百万円と前期末比37,957百万円(10.8%)増加いたしました。

収益面におきましては、創業支援から再生支援まで幅広く貸出金を推進した結果、本来業務の収益であります業務純益は3,457百万円と前期比228百万円(7.06%)の増加となりました。株式売却益の576百万円(34.5%)に加え、旧本店の売却等による特別利益954百万円を計上した一方、貸倒引当金の積み増しも行い最終の当期純利益は、3,110百万円となりました。

また、積極的に中小企業への金融支援を推進いたしました結果、貸出金増加によりリスクアセットが逡増しましたが、新本店移転に伴う新しいお客様の増加や当金庫の理念に賛同していただけるお客様からの出資金増口もあり自己資本比率は8.85%と前期比+0.15%の上昇となりました。

平成29年9月には、大阪の中心である本町へ新本店を移設し、将来の更なる飛躍へ向けて新しいスタートを切りました。また、12月には加美支店をリニューアルオープンいたしました。今まで以上に便利で使いやすい、相談しやすい店舗づくりに注力してまいります。現在、11年後の創設100周年を展望した「100周年構想委員会」にて議論を重ね、将来へ向けての飛躍と成長を実現させる長期経営計画を策定しております。今年度は新たに始まる第一次中期経営計画「GENKI100」のスタートを切る要の年です。地域の皆様方と一体となり、大阪経済を「明るく元気に」と活性化させていくため邁進する所存でございます。

皆様方におかれましては、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成30年7月



会長
片桐 陽



理事長
多賀 隆一

Contents

■ 経営理念・金庫概要	P1	■ 事業性評価への取組	P10	■ 資料編	P26
■ ごあいさつ	P2	■ お客さまの様々な経営課題を解決する体制	P11	■ 財務諸表	P27
■ 堺筋本町へ新本店移転	P3	■ 社会貢献活動CSR	P13	■ 役職員の報酬体系	P30
■ 地域経済への貢献	P5	■ 総代会に関する情報開示	P15	■ 主要な経営指標/預金に関する指標	P31
■ 決算ハイライト	P6	■ 地域との一層のつながりを	P17	■ 貸出金に関する指標	P33
■ 組織図・沿革・役員一覧	P7	■ 当金庫の活動指針・ 信金中央金庫の概要	P19	■ 有価証券/その他業務に関する指標/ 連結に関する事項	P35
■ 新中期経営計画のスタート/ トピックス	P8	■ 主要な事業の内容	P23	■ 自己資本の充実の状況	P37
■ 地域密着活動	P9	■ 主な手数料一覧	P25		